



## 横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づく 令和5年度の実施状況について

1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について ..... 2

### 【掲載取組】

| 基本方針名                 | 報告書<br>掲載頁 |
|-----------------------|------------|
| (1) 基本方針6 市役所の率先行動    | 37頁        |
| (2) 基本方針7 気候変動の影響への適応 | 61頁        |

# 1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について

## (1) 基本方針6 市役所の率先行動

### 局・統括本部ごとの取組実績等

#### こども青少年局

##### 1 事業の実績と取組など

- ・2022(令和4)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比 22.2%減の 0.51 万トンとなりました。
- ・2023(令和5)年度のエネルギー消費量は、2013 年度比 14.1%減の 108TJとなりました。
- ・2023(令和5)年度は、市立保育所や児童相談所等で LED 等高効率照明を導入し、LED 化率は 52%となりました。
- ・一部の市立保育所など3施設において太陽光発電設備を導入しています。
- ・一般公用車 21 台のうち、2023(令和5)年度は新たに1台の次世代自動車等を導入し、割合は 57%となりました。
- ・新設整備を進めている東部児童相談所(仮称)には、消費電力の一部を賄うため、屋上に太陽光発電設備を設置することとしました。

<温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況> 上段:実績、下段:増減率(基準年度比)

|                                  | 基準年度<br>(2013 年度) | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度          | 2023 年度         |
|----------------------------------|-------------------|---------|---------|------------------|-----------------|
| 温室効果ガス排出量 [万 t-CO <sub>2</sub> ] | 0.66              | 0.52    | 0.50    | 0.51<br>(▲22.2%) | —               |
| エネルギー消費量 [TJ]                    | 126               | 112     | 107     | 110              | 108<br>(▲14.1%) |

<対策の取組状況>

|                    | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 |
|--------------------|---------|---------|---------|---------|
| LED 等高効率照明の導入      | 28%     | 47%     | 49%     | 52%     |
| 太陽光発電設備の導入         | 3 施設    | 3 施設    | 3 施設    | 3 施設    |
| 一般公用車における次世代自動車等導入 | 40%     | 40%     | 52%     | 57%     |

※2023 年度の次世代自動車等の台数 12 台 (EV : 1 台、PHV : 0 台、FCV : 1 台、HV : 10 台)

##### 2 職員の取組

局内の会議及び打合せにおいてプロジェクターやディスプレイを活用することや、紙の使用量の状況を毎月共有することで、ペーパーレス化を推進しました。また、WEB 会議の実施や全職員を対象とした環境研修の受講、グリーン購入の推進に取り組みました。

## (2) 基本方針7 気候変動の影響への適応

### 取組実績、今後の取組

#### 3 熱中症・感染症等分野の適応策の推進

- 保育所、幼稚園、認定こども園等の保育・教育施設、放課後児童健全育成事業所、放課後等デイサービス、児童養護施設、地域療育センター、青少年関係施設などの所管施設に対して、熱中症の注意喚起の連絡を行いました。放課後キッズクラブでは、一部の事業所でエアコンの更新・増設を実施しました。